

新潟県・佐渡市と共催で特別防災セミナーを開催

～地域コミュニティと避難所運営リーダーの重要性および自助としての地震保険を学ぶ～

日本損害保険協会関東支部新潟損保会（会長：山本高廣・三井住友海上火災保険株式会社 新潟支店長）は、新潟県損害保険代理業協会と連携し、2026年6月6日（土）、新潟県および佐渡市との共催により、佐渡市アミューズメント佐渡において「特別防災セミナー in 佐渡」を開催し、当日は、新潟県民約90名が参加しました。

1. 開会挨拶

開会にあたり、佐渡市副市長 鬼澤佳弘氏より挨拶がありました。能登半島地震において佐渡市でも最大震度5強が観測され各種被害が発生したことを踏まえ、地震は予測が困難であることから、平時における備えの重要性について言及がありました。また、避難経路の確認や家庭内備蓄の推進、地域特性を踏まえた地区防災計画の策定を進めるよう呼びかけがありました。

2. 講演概要

(1) 第1部「巨大地震への備え」

新潟大学 災害・復興科学研究所 所長 ト部厚志教授による「能登半島地震を教訓に巨大地震に備える～正しく備え、正しく恐れる～」と題した講演が行われました。講演では、佐渡と能登半島が地形、断層構造、人口規模等において類似している点に触れ、同様の災害が発生する可能性があることが指摘されました。また、能登半島地震においては、旧耐震基準建物の倒壊、土砂災害、津波等が複合的に発生したことを踏まえ、災害時には一律に避難所を目指すのではなく、状況に応じた安全な場所への迅速な避難（いわゆる「生存避難」）の重要性について説明がありました。

さらに、支援を受け入れ活用する受援力の向上に向け、地域コミュニティの強化や避難所運営リーダーの存在も重要であるとの指摘がありました。

(2) 第2部「新潟県の防災の取組み」

新潟県防災局防災企画課 江端淳係長より、「新潟県の防災取組み」と題した講演が行われました。

講演では、防災は「予防」「対応」「復旧」の3段階で捉える必要があり、とりわけ事前準備が重要であることが示されました。具体的な取組みとして、住宅の耐震化、家庭内備蓄（ローリングストック）、マイ・タイムラインの作成および地区防災計画の策定が挙げられました。

また、「新潟県避難所アプリ」への事前登録により、避難時の支援が円滑に行われることから、平時からの登録の重要性について指摘がありました。

(3) 第3部「自助への備え（地震保険）」

当協会専務理事 大知久一より、「自助への備え—地震保険—」と題した講演が行われました。

講演では、地震発生後の生活再建においては経済的備えが不可欠であること、公的支援は最大でも数百万円程度にとどまり、住宅再建費用（平均1,500万円から2,500万円程度）に対して大きく不足することが示されました。その上で、不足分を補う手段として地震保険の有効性が説明されました。

地震保険は、政府と民間が共同で運営する公共性の高い制度であり、補償内容の拡充や迅速な保険金支払いにより、被災後の早期復旧に寄与する仕組みであることが紹介されました。

3. 閉会挨拶

閉会にあたり、新潟県損害保険代理業協会 会長 小山恒弘氏より挨拶があり、自然災害に対する備えとしての保険の重要性について言及がありました。また、地震による損害は火災保険では補償されないことを踏まえ、特に地震保険の必要性について言及がありました。最後に、新潟県における火災保険への地震保険付帯率が75.2%である現状を踏まえ、未加入者への理解促進と普及に引き続き努めていく方針が示されました。

4. アンケート結果

参加者へのアンケートでは、9割以上が「わかりやすかった」「役に立った」と回答がありました。主な意見として、災害時の対応に対する理解が深まったことや、地域の災害リスクを再認識したこと、地震保険の有用性が理解できたこと等が挙げられました。(アンケート 3 (1) 参照)。

参加者への住まいのリスクに関する意識変化については、「より意識が高まった」、「今回さらに意識が高まった」、「これまで重要だと感じていなかったが、重要だと感じた」との回答が9割以上を占め、セミナーを通じた意識の変化が確認できました。(アンケート 4 (1) 参照)。

また、防災対策に関する意識としては、「すぐに実行したい」が27%、「近いうちに検討したい」が60%となり、本セミナーが行動変容の契機となったことが確認されました。(アンケート 5 (1) 参照)。

5. 今後の取組み

当支部においては、今後も引き続き、県民の防災・減災に係る意識向上および普及啓発活動に取り組んでいきます。



佐渡市鬼澤副市長 開会挨拶



新潟大学 ト部教授の講演



新潟県防災企画課江端係長の講演



損保協会 大知専務理事の講演



新潟大学 ト部教授の質疑応答



新潟代協 小山会長 閉会挨拶

特別防災セミナーアンケート結果

セミナー参加者数
アンケート回収数

87
57

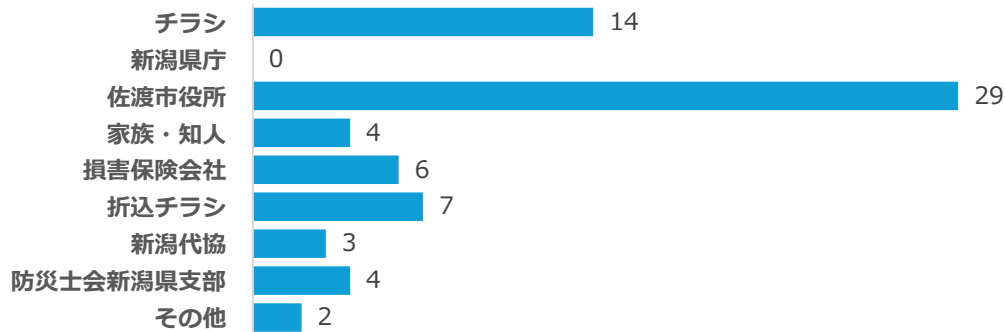
アンケート回収率 65.5%

性別	男	女	無回答
	35	18	4
	61.4%	31.6%	7.0%

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
	0	0	2	4	16	15	19	1
比率	0.0%	0.0%	3.5%	7.0%	28.1%	26.3%	33.3%	1.8%

すまいの地域	佐渡市内	新潟県内 県内	県外	無回答
	43	3	0	11
比率	75.4%	5.3%	0.0%	19.3%

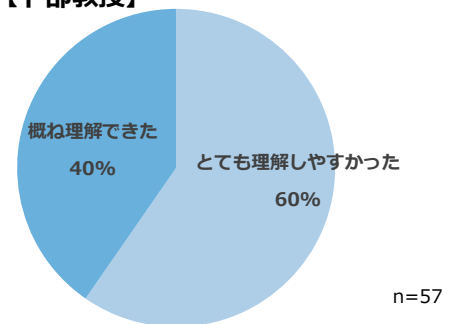
1. 本日のセミナーをどのように知りましたか【複数回答可】



2. セミナー内容の理解度についてお聞きます。

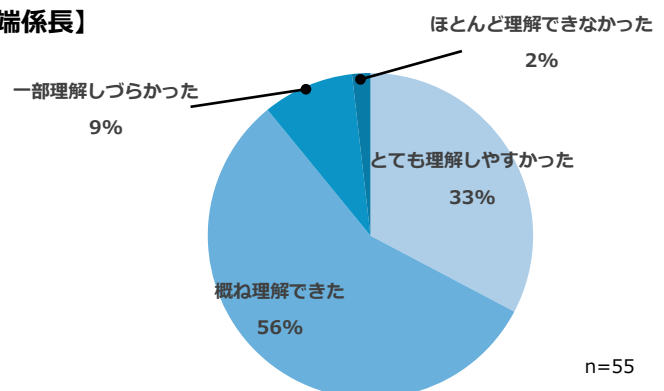
(1) 「能登半島地震を教訓に巨大地震に備える」～正しく備え、正しく恐れる～【ト部教授】

とても理解しやすかった	34
概ね理解できた	23
一部理解しづらかった	0
ほとんど理解できなかった	0



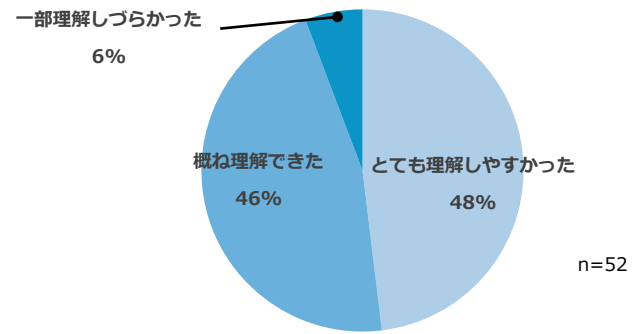
(2) 「新潟県の防災取り組み」【新潟県防災企画課・江端係長】

とても理解しやすかった	18
概ね理解できた	31
一部理解しづらかった	5
ほとんど理解できなかった	1



(3) 「自助への備え—地震保険—」【日本損害保険協会・大知専務理事】

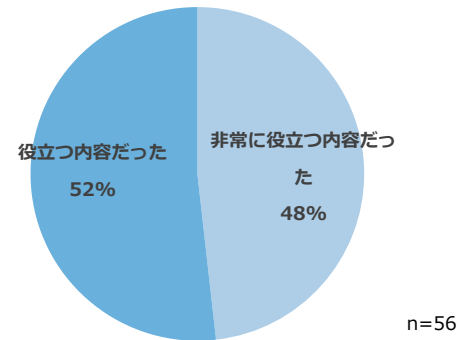
とても理解しやすかった	25
概ね理解できた	24
一部理解しづらかった	3
ほとんど理解できなかった	0



3. セミナー内容の【有用性・満足度】についてお聞きします。

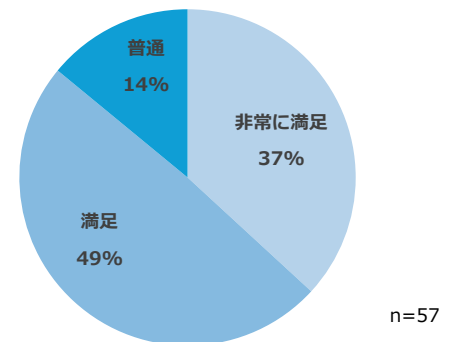
(1) 本日のセミナーの内容は、防災に役立つものでしたか

非常に役立つ内容だった	27
役立つ内容だった	29
あまり役立たないと感じた	0
まったく役立たないと感じた	0



(2) セミナー全体の満足度を教えてください

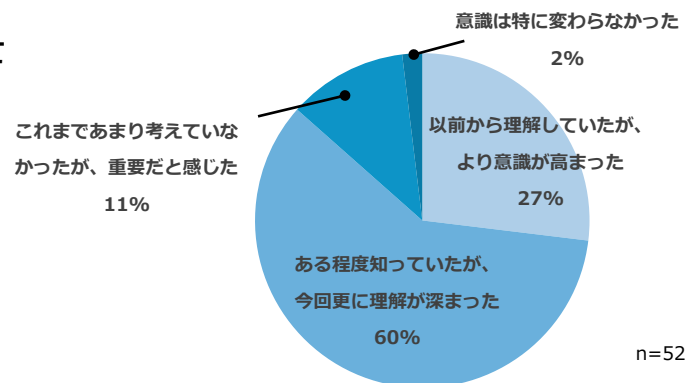
非常に満足	21
満足	28
普通	8
やや不満	0
不満	0



4. セミナー受講による【意識の変化】についてお聞きします。

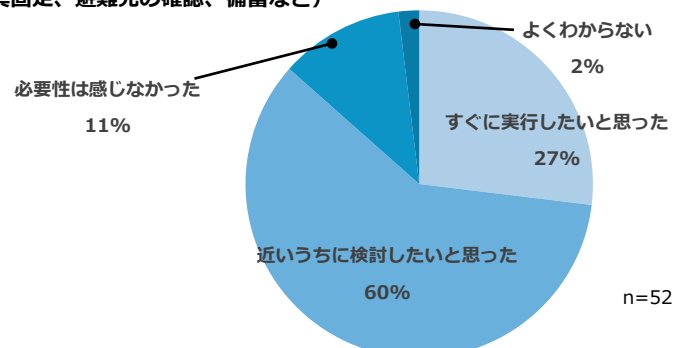
(1) お住まいの地域の危険性(地震・津波等)について

以前から理解していたが、より意識が高まった	14
ある程度知っていたが、今回更に理解が深まった	31
これまであまり考えていなかったが、重要だと感じた	6
意識は特に変わらなかった	1
よくわからない	0



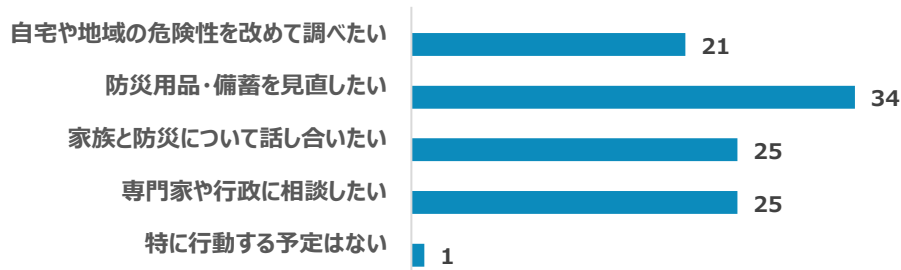
(2) 家庭でできる防災対策について (例：耐震化、家具固定、避難先の確認、備蓄など)

すぐに実行したいと思った	14
近いうちに検討したいと思った	31
必要性は感じなかった	6
よくわからない	1



5. 【行動の変化(行動変容)】についてお聞きします

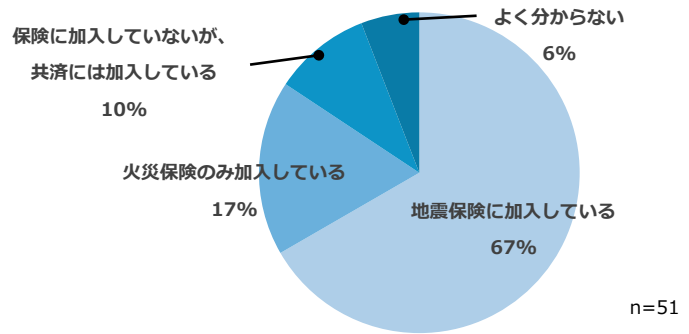
(1) セミナーを受けて、今後取りたい行動はありますか(複数回答可)



6. 【地震保険の必要性】についてお聞きします

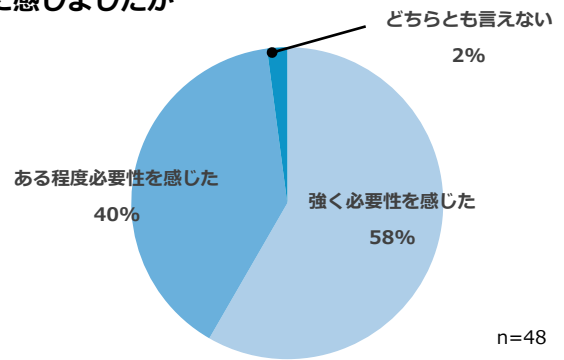
(1) 現在の地震保険の加入状況について

地震保険に加入している	34
火災保険のみ加入している	9
保険に加入していないが、共済には加入している	5
よく分からない	3



(2) 本日のセミナーを聞いて、地震保険の必要性をどのように感じましたか

強く必要性を感じた	28
ある程度必要性を感じた	19
どちらとも言えない	1
あまり必要性を感じなかった	0
必要性を感じなかった	0



(3) 新規で地震保険・共済に加入する際に、補助金があれば地震保険・共済に加入しますか。【複数回答可】

